

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（加藤課長）

1 開会

皆様こんにちは。定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます健康医療課課長の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それではただいまから、令和6年度第2回久喜市健康増進・食育推進会議を開催させていただきます。会議は、健康増進・食育推進会議条例第7条第2項の規定により、委員の過半数の出席が必要ですが、現在の出席委員は、14人で、定数の過半数に達しておりますことから、本日の会議が成立しますことを報告させていただきます。

なお佐藤委員におかれましては、遅れるとのご連絡をいただいております。

続きまして、会議の公開及び会議録の作成等について、ご説明させていただきます。

会議につきましては、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき、公開とさせていただきます。

また、会議録作成のため、録音させていただきます。会議録は、ほぼ全文記録で作成し、確認及び署名につきましては、石崎会長にお願いしたいと存じます。

続きまして、本日の会議の終了予定時刻ですが、2時45分とさせていただきますと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。

2 あいさつ

司会（加藤課長）

次に、次第2のあいさつでございます。開会にあたりまして、石崎会長からごあいさつをいただきたいと存じます。

石崎会長よろしくお願いいたします。

石崎会長

（会長あいさつ）

司会（加藤課長）

会長ありがとうございました。

続きまして、本日の配付資料を確認させていただきます。
（事務局から資料の過不足や落丁等の確認）

3 議題

司会（加藤課長）

それでは、次第3の議題に移らせていただきます。

議事の進行につきましては、久喜市健康増進・食育推進会議条例第7条第1項の規定により、石崎会長にお願いしたいと存じます。

石崎会長、よろしくお願いいたします。

議長（石崎会長）

はい、それでは改めましてよろしくお願いいたします。

暫くの間、議長を務めさせていただきます。会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、（1）計画に係る市の取り組みについて、事務局よりご説明をお願いいたします。

（1）計画に係る市の取り組みについて

事務局（篠原課長
補佐兼係長）

それでは事務局から、計画に係る市の取り組みについて、ご説明、ご報告させていただきます。健康医療課の篠原と申します。よろしくお願いいたします。大変恐縮ではございますが、着座にて失礼いたします。

現在進行管理を行っております、第3次久喜市健康増進・食育推進計画につきましては、令和6年度から令和17年度までの12年間の計画となっております。

健康づくり・食育・自殺対策につきましては、市民一人ひとりの生涯にわたる、主体的な取り組みが重要となります。そのため、本計画では、各分野の主な取り組みを、「市民の取り組み」「地域の取り組み」「市の取り組み」について分けて示し、それぞれの立場でできることを進めていくこととしています。

本計画をさらに市民に周知し、推進していくために、まずは市の職員が、新しい計画の内容を念頭に置き、取り組みを進めること、また市民の取り組みについて再認識することが重要と考えました。

そのため、本会議委員の皆さま、関係課担当職員で組織する庁内連絡会議作業部会、関係課長で組織する庁内連絡会議に過日、計画の各分野の「市民の取り組み」について、取り組んでいるか否かということのチェックをしていただいたところでございます。

資料1をご覧ください。実施していただきましたチェックリストの集計結果となります。市民の取り組みについて、回答者自身が取り組んでいると答えた割合を中央に示しています。集計は委員の皆さまと市役所の職員と分けております。担当職員の作業部会では、資料1の内容について意見を出し合いました。集計結果のご説明に併せまして、作業部会にて寄せられた意見をご紹介します。

資料1の1ページをご覧ください。1健康増進計画（1）生活習慣を改善する取り組みの推進①栄養・食生活につきましては、委員の皆さま、職員ともに実施をしている割合が高かったのですが、骨の健康チェックに参加するという項目が低い結果となりました。骨密度測定の機会

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

が少ないため、低率であったのではないかと考えます。作業部会では、実施率が低かった骨密度についての意見が多く、「若い世代の方々は骨粗しょう症のリスクについてイメージが湧きづらいため、骨の量が増えていくのは男女とも20歳くらいまでということなど、骨粗しょう症の測定の必要性を伝えていく」「様々な世代が測定できるよう、健康診断やお子さんの健診などとの同時実施やドラッグストア等で実施する」などがありました。

次に②の身体活動・運動につきましては、約6割から7割が実施という結果となりました。その中でも「体力に応じてスポーツイベントなどに参加する」、「今より10分多く体を動かす」という項目が他より低率でありました。作業部会では、身体活動・運動について、行ったほうがよいことは分かっているが、行動に移すことがなかなかできないことや、運動をすることを気構えず、ながら運動や、日常の行動の置き換え、例えば掃除の際、モップを使用するところを、雑巾がけにすることなど、行動に移しやすいことから始めて、運動量を増やすなどの意見がありました。

次に2ページをご覧ください。③の飲酒・喫煙につきましては、禁煙の取組みが低率でありました。喫煙者は全回答者のうち、7人(11.5%)であり、その中で1人が禁煙に挑戦すると回答しています。作業部会では、禁煙は大切なことで取り組んでほしいが、まずは吸わない方の受動喫煙を防止するため、喫煙者は、決められた場所での喫煙を守ってほしいとの意見がありました。

次に④の歯・口腔の健康につきましては、概ね高い実施率でした。作業部会では、幼児のむし歯罹患率は下がってきていることから、親世代の歯科に対する意識は向上していると考えますが、さらに意識を高めていけるよう、子どもたちを含め、健康教育を進めていくことが重要との意見がありました。

次に(2)生活習慣病予防と重症化予防の推進⑤がんにつきましては、定期的ながん検診を受けるという項目、家族や友人にがん検診などの受診を促すという項目が6～7割の実施率となりました。作業部会では、市のがん検診では、精密検査と判定されても受診をしない方がいるため、必要性を理解していただくことが重要との意見がありました。

次に3ページをご覧ください。(3)こころの健康づくりの推進⑦休養・睡眠・心の健康につきましては、仕事が忙しい時ほど、意識的に休養時間をつくる、テレビ、ゲーム、スマートフォンの使用時間を控え、できるだけ体を動かすという項目が5～6割の実施率と半数程度でした。忙しさの中では、一息の休憩でさえ忘れがちですが、それに気づき短時間でも休憩をとるようにすることや、ご近所さんが触れ合える場の提供が心の安心につながり、心の健康づくりができるのではないかとこの意見がありました。

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

次に4ページをご覧ください。2食育推進計画(2)豊かな心をはぐくむ食生活の推進①食文化の継承につきましては、概ね実施率は高かったのですが、地域独自の伝えたい料理などを活用して情報発信するという項目が2～3割の実施率となりました。伝えたい料理はあるという方につきましても、情報発信という点が難しいため、低率になっていると推測しています。市の公式動画チャンネルでは、郷土料理の紹介をしていますので、発信したい方のレシピを市が動画にして発信することや、レシピを配布するなど、協働することで、市民の方の伝えたい料理を広めていくことができると感じました。

続きまして、資料2の1ページをご覧ください。第2次久喜市自殺対策計画に基づく事業の実施についてでございます。今年度の9月に地域保健課にて実施しました啓発活動です。自殺対策基本法に基づき、毎年9月10日から16日を自殺予防週間、毎年3月を自殺対策強化月間としています。昨年度は久喜駅、東鷲宮駅、栗橋駅にて、警察官とともに啓発品を配布しました。今年度は更に、啓発品の配布に加え、横断幕を作成し掲示しています。

作業部会では、啓発活動について、不特定多数の人が集まる駅構内で、警察官とともに啓発活動を行うことは通りかかった人も安心感があるため、啓発品を受け取ってもらいやすい、こどもも、大人もスマートフォンから情報を受け取ることが増えているため、SNSを活用すると効果的ではなどの意見がありました。

続きまして、2ページをご覧ください。啓発活動を行った際に配布した、絆創膏セットでございます。県や市の相談窓口とともに、メンタルヘルスチェックシステムの「こころの体温計」の説明がございます。資料を送付した際に、絆創膏セットとして二次元コードを送らせていただきました。携帯電話やパソコンからチェックができ、4択式の質問13問に回答するとストレスや落ち込み度がイラストになって現れるものです。

作業部会では、「こころの体温計」を知らなかった、イラストで自身のストレス要因を見ることができるため、気づかないうちにストレスが肥大化してしまうのを防ぐことができるという意見がありました。

3ページをご覧ください。こころの体温計の年度ごとのアクセス数です。アクセス数とは、インターネット上のこころの体温計のページを利用者が訪問した件数で、年間2万から3万件のアクセスがあります。1日平均にした場合、50～90件ほどでございます。

次に、利用者の年代別男女別のグラフをご覧ください。まず利用者の男女比が大きく異なります。全利用者のうち、男性が34%、女性が66%となっております。年代別に見ますと、20歳代の割合は他の年代に比べて低くなっていますが、20歳代以外の割合は、どの年代も同じくらいの比率になっています。月別アクセス数のグラフをご覧ください。9月

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間には、国を始め、市においても広報活動等を集中的に行うため、「こころの体温計」へのアクセスも増加しているようです。令和5年につきましては、小・中学生の学習用のタブレット端末を通じて配信したため、前年度に比べアクセスが増加しています。

続きまして資料3をご覧ください。12月22日、日曜日に開催された健幸・スポーツフェスタ KUKI について報告させていただきます。健幸・スポーツフェスタ全体では延べ人数、約3,000人、そのうち、健康ブースでは延べ人数、約850人が来場しました。

2ページをご覧ください。健康ブースの様子です。健康ブースでは、こどもの調剤体験や救命体験など、8つのブースを展開いたしました。ベジチェックや食品に含まれる砂糖の量の食育クイズなど、大人も子どもも楽しみながら、健康づくりに触れられたのではないかと思います。

開催の周知にあたり、11月下旬から12月にかけて、小・中学校へのタブレット配信や乳幼児健康診査・久喜市民生委員兼児童委員協議会の会長会、連絡会などでチラシを配布しました。来年度以降も同じようなイベントを行う際は、ぜひ参加いただければと思います。

資料1から資料3のご説明は以上となります。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。

ただいま、事務局から、「計画に係る市の取組みについて」説明をいただきました。

資料1は、前回の会議で委員の皆様へ回答の依頼がありました、チェックリストを集計したものになります。

事務局の説明にもありましたが、令和6年度から新しい計画の運用が開始されておりますので、本計画をさらに市民に周知し、推進していくためには、計画の内容を関係される方にも知っていただきたいという思いから実施されたものになります。

皆さま、チェックリストを実際に行っていただいているかと思えますけれども、行ってみてのご感想やご意見、あるいは、今の説明に対してご質問等がございましたら挙手をお願いいたします。

はい、中野委員お願いいたします。

中野委員

はい。中野と申します。

こころの体温計を送っていただいて、まず第1印象ですが、とても軽くて薄くて取りやすいなというふうに思いました。二次元コードを読み込んでやってみたのですが、質問事項を入れるとすぐにイラストになって、結果がすぐ分かるというのが良い点だと思いました。

あと、項目があまり若者向けではないように感じたところがあって、先日ニュースでも、小・中高生の自殺者の数が多いと出ていたので、も

中野委員

う少し若者向けのものがあるといいと思います。

置く場所ですが、私は児童センターや図書館にも、こちらを置いていただけたらいいと思います。

あと、今お話で、タブレットの方にこれが入っているということで、それはとてもよいと思いました。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。若者向けの周知の場所として、貴重なご意見をいただいたので、ぜひご検討いただければと思います。

他に皆様からいかがでしょうか。

私は、本結果を拝見し、委員の皆様はもちろん、職員の皆様も、大変に真面目だと思った次第です。

市役所の皆さんの結果は、地域保健の課題というよりも、どちらかというと職員の健康管理を考えるうえで役立つのではないかと拝見しました。心の健康に関連する部分は、市役所の皆さんは、悩みを誰かに相談したり、周りの人の変化に気づき、声を掛け合ったりということ、9割以上の方が実践されており、健全な職場だと思いました。

他にいかがでしょうか。何か、こういうふうにとやると、もっと工夫できるのではないかなとか、ご感想でも結構です。

それでは私から質問してもよろしいでしょうか。骨の健康チェックの実施率が少し低いように感じたのですが、市では、骨の健康チェックに関する機会が、年間、どの程度設けられているのか教えていただければと思います。

事務局（鳥海課長）

地域保健課長でございます。

骨の健康チェックの回数でございますが、令和5年度の実績で申しますと、全体で15回程、年間で、久喜、菖蒲、栗橋、鷺宮地区で去年は実施して参りました。これをさらに回数を増やすということで、6年度は2回程増やしまして、実施しているところでございます。

また骨の健康チェックは、保健センター等でやるだけではなく、12月にはセキ薬品さんと協力いたしまして、その会場で骨密度測定を実施し、そこに薬剤師さんもいて、薬剤師さんの健康指導と、健康チェックも含めてやるという新たな取り組みも行っているところでございます。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございました。

興味があっても実際に受けられる場所が少ないと、この数字を伸ばすのは難しいと思ったのですが、令和6年度は新たに2回プラスして、今後もいろいろな場所での展開を考えておられるということですので、受けやすい体制の工夫が図られていることを理解することができました。ありがとうございます。

その他、皆さんいかがでしょうか。

議長（石崎会長）

はい、池上委員よろしくお願いたします。

池上委員

先ほどのご質問とかぶりますが、具体的にはどこに骨密度の測定機械が置いてあるのでしょうか。健幸・スポーツフェスタでは、平成国際大学の学生さんが来て全部測っていました。

どの辺りに置いてあるかが分かれば、私のお客様にも骨密度を測れる場所がありますよと紹介できますので。

事務局（鳥海課長）

引き続きまして、地域保健課長でございます。

骨密度測定の実施場所ということでございますが、基本的に市の保健事業としては、各保健センター、中心的には中央保健センターでやらせていただいているというところでございまして、今ご指摘いただいたスポーツイベントの中でも、私どもではないのですが、協賛する企業さんとか、骨密度測定をやるということで、そういうところで測定の機会を設けているということがございます。基本的には市の事業として、骨密度健康チェックを保健センターで実施しておりまして、広報紙で周知させていただきますので、その辺を確認いただいでご参加いただければと思っております。

池上委員

わかりました。勝手に行って測るというように、簡単には出来ないということでしょうか。

事務局（鳥海課長）

いえ、電話で申し込みできます。

池上委員

わかりました。ありがとうございます。

事務局（真坂部長）

はい、少し補足をさせていただきます。平成国際大学が今回健幸・スポーツフェスタの方では協力して、骨密度測定をしてくださったのですが、実はこの12月22日の前にも、アリオの会場で、スポーツの健幸フェスタを開催しまして、その時にも平成国際大学の方で骨密度測定を行ってくださっていました。周知がぎりぎりだったので、参加の状況をスポーツ振興課に聞きましたら、測定した人はちょっと少なかったという報告を受けましたが、お買い物ついでの測定などができるような、そういった工夫をしております。市としましても、もっと周知をしていきたいと、そこは反省しております。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。

今、池上委員のお話の中にも、フェスタにご参加くださっていたということがございましたが、今回、資料3にございます、健幸・スポーツフェスタに関しましては、健康のブースとして、久喜市歯科医師会様や

議長（石崎会長）

久喜白岡薬剤師会様にご出展しておられましたので、もしよろしければ、実践されたご感想や、その他にも来年度以降、同様のイベントがあった際に、出展や参加をしたいといったご意見がございましたらお願いしたいと思います。

歯科医師会の上岡委員いかがでしょうか。

上岡委員

歯科医師会の上岡です。

先ほど池上委員からお話がありましたが、隣で出展していました。我々も例年、市民まつりの方には出させていたのですが、ターゲットがバラバラになってしまうという点がありましたが、今回はお子さんを対象に、口の中の筋肉を計測するというのをやりました。大体300名ほどの方が来られたと思います。口がぼかんとするというのが今多くなってきたので、こういった訓練をしていただいて、治していただきたいという点で始めまして、測定された方にセットを渡しております。参加される方ができるといいますので、どんどん応募していただいて、来年もこういった形でやれば良いと思っております。歯科医師会としてはターゲットを絞るという点では、やりやすかったと思っております。

議長（石崎会長）

はい、上岡委員ありがとうございました。

市民まつりのときと、実感としては、人の入りというのは違う感じでしたか。対象者のターゲットとか。

上岡委員

人数は少ないですけど、内容を絞れるというのはよかったです。

議長（石崎会長）

わかりました。ありがとうございました。

他の団体さんでも、ぜひこういったイベントに参加したいとお考えのところはありますでしょうか。あるいは、例えばこういうふうに市から依頼されたら、団体としても参加しやすいなど、そのようなご意見でもいただければと思います。いかがでしょうか。

三澤委員どうぞよろしく願いいたします。

三澤委員

ちょっとお聞きしたく、私、アンケートに答えたかどうか覚えてないのですが、このアンケートは年代別には取っていないのでしょうか。

事務局（篠原課長
補佐兼係長）

はい、ご質問ありがとうございます。

このアンケートにつきましては、皆さんがお持ちの市の健康増進計画の中に、それぞれ取り組み別に、市民の方に取り組んでいただくこと、市で取り組むこと、地域で取り組むことの3本立てで、具体的な内容が記載してありまして、その計画の市民の取り組みのところを抽出しまし

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

て、項目の再確認もしていただきたいということで、皆さんにチェックをお願いしたところでございます。総数も少ないので、集計につきましては、年代ごとに分けてはしておりません。

三澤委員

全体ということですね。おそらく項目によっては、年代によって随分違って来るだろうと。今のこの骨粗しょう症のチェックなんかも、おそらく若い方はほとんど受けない。年配の我々みたいな者が受けるというパーセンテージが極端に出る可能性はあると思いますので、そういう点で、年代別が分かればもっと説得性のある資料になったのではないかなという気がいたしました。

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

ありがとうございます。いただいたチェックリストをもとに、年代別にも、人数は少ないですが、見てみたいと思います。

議長(石崎会長)

三澤委員ありがとうございました。

今回の回答者は、この会議にご出席くださっているメンバー、それから、市役所職員さんの中でも、本計画の策定に携わっている作業部会の方、また、その担当課の課長さん方ということですので、健康への意識は高いであろうと思われる方々だと思えますが、それでも、この数字からは課題としても見えてくる部分があるように思います。今後は、三澤委員がおっしゃってくださったように、市民の皆さんがこれらを実際にどの程度実施しておられるかということ、可能であれば市民の皆さんにアンケート等でお伺いできると、こどもからご高齢の方まで、ある程度年代別の傾向が分かるということも可能になってくるかと思えます。

この議題に関しては、ここで一旦締め切らせていただいて、次に移らせていただこうかと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(2) 計画に係る地域・団体の取り組みについて

議長(石崎会長)

それでは次に移らせていただきます。(2) 計画に係る地域・団体の取り組みについて、事務局より説明をお願いします。

事務局(篠原課長
補佐兼係長)

はい、続きまして資料4をご覧ください。資料の左側は、計画に挙げられている、分野ごとの地域の取組みを抜粋したものでございます。右側は、各団体に属している委員の皆さまから団体としての取組みをご報告いただきまして、計画の分野ごとにまとめたものでございます。各団体に実施されている取組みは、計画の各分野に複数該当するものもございますが、主に該当するところに振り分けさせていただきました。

資料4の説明は以上となります。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。

議長（石崎会長）

ただいま事務局から、資料4、A3の資料3枚にまとめられた内容についてご説明いただきました。

計画では、各分野の取組みについて、「市民」「地域」「市」の取組みの3つに分けて、それぞれの立場で出来ることから推進しているというものになります。団体に所属されている委員の皆様におかれましては、今年度実施された取組みの様子やご感想、これから取り組んでいくことが出来そうな取組みについて、順番にお伺いしていきたいと考えております。

また、公募の委員の皆様におかれましても、一市民として、この取組みには参加しやすそう、あるいは、こんな取組みがあったらいいな、というご意見を伺いたいと思っております。

お手数ではございますが、団体に所属しておられる委員の皆様から、名簿順にご意見を頂戴したいと考えておりますが、三澤委員からお願いできますでしょうか。

三澤委員

区長会代表の三澤でございます。

区長会としては、そこに記入されていますように、全体としての取り組みというのはあまりやっておりませんが、ほとんどの区長が自治会長を兼務してございまして、その自治会内の事業を計画しております。例えば、健康増進関係とか、親睦を深める会とかです。健康増進ですと、運動会の積極的な参加を促すとか、その啓発等ですね。あとは、納涼大会、餅つき大会、敬老会等を通じて、また、視察研修等も行っている自治会もございまして、それぞれの活動を通じて自治会なりの絆を深め、安全で安心な地域づくりに寄与していこうということで、これが今のこの健康増進に直に結びついていく目的であるかということ、必ずしもそうではないのですが、結果的にそうなっていくように取り組んでいると思っておりますので、各行政区に期待したいと思っております。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございました。

様々な地区のイベント、運動に関しては運動会等も開催されているということで、今おっしゃられたように、直接的には健康を目的としたものでなくても、住民同士の繋がりができると、結果的に健康にも良い影響をもたらすのではないかと感じます。ありがとうございます。

では続いて渡辺委員よりしくお願いいたします。

渡辺委員

はい、スポーツ少年団の渡辺でございます。

私どもスポーツ少年団久喜の本部といたしましては、基本的に競技団体として、野球、サッカー、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、バスケ、ミニバスケットボールの競技団体、複数の団体がいる競技、その他に、ラグビー、水泳等、陸上競技、競技団体のグループはな

渡辺委員

いのですが、10種目ぐらいの団体、あるいはその部会の主催で、各種の競技大会、市長から市長杯をいただいたりして大会を行っています。ここには書かなかったのですが、1月には全団員を集めたロードレース大会というのを実施しております。個人の長距離レース、それからグループごとの団体の駅伝大会を催して、健康増進に励んでいくというところ
です。

また、ここと直接関係ありませんが、各団体では、自然に親しんでハイキングとかキャンプをすることで、食育といいますか、自分たちで薪を割ったり飯盒炊飯をしたりする、食文化を根づいていくようにする活動もしています。

それから、異文化交流ということで国際交流をしています。オーストラリアのメルボルンの野球少年たちと、夏は日本に来日していただいて、ホームステイをしている。春は、卒業する6年生がメルボルンに出向いて行って1週間ほどホームステイをして、異文化、もしくは外国の食文化を学んでくるというイベントもやっております。スポーツそのものには直接関係ないのですが、様々な事業を通じて、健康増進、食育を推進しているところ
です。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございました。こちらに記載のない活動についても教えてくださいましてありがとうございます。食文化に関することや国際交流もされているということで、貴重な情報提供をありがとうございます。

では続きまして、倉持委員よろしくお願ひいたします。

倉持委員

レクリエーション協会でございます。いろいろと活動は各種団体でやっているのですが、ここ最近はやはりコロナの影響がありまして、人と接する活動というのが非常に少なくなってきた、ソーシャルダンスのクラブは解散をしてしまいました。もう4年、5年目ですけれども、コロナ以降の活動が伸び悩んでおります。

それと高齢化の問題もあります。一番辛いのは、ボランティア的な活動に参加をするという人が、だんだん役職をやりたいがらないものから、非常に難しい時期に来ております。そんな中でも、最近、この間の1月5日にも行ったのですが、久喜市の新春ミニテニス大会といいまして、久喜だけでなく、近隣の市町村の協会にも呼びかけて、サブアリーナで盛大にやらせていただきました。川口協会とか、いろいろな市町村からも参加していただいて、ミニテニスとはいっても、すごいサーブを打ってしましてびっくりしました。

やはり健康というよりも、だんだん歩けなくなってしまう。病気になる入院すれば、10日間ぐらい入院したらもう立てません。後期高齢者に限らず60代ぐらいから、僕らの友人でも、5日間入院したら立てなかった

倉持委員

と。そうすると、好きな運動もできないということで、やはり健康を維持するには、歩くのが一番いいのかなと思っています。食、栄養も大切ですが、まず歩くこと。最近はお医者さんも手術をした後、すぐ歩きなさいと言います。翌日から歩かされておりますけども、やはり歩くことの大切さ、それを日常的に取り組むということを、私たちも各団体にはお願いをしております。

そんな形でどうにか11団体が元気に活動していますが、なかなか難しい時期にきているというのが正直なところですが、初心者の方を集めて、会員が講習会を各団体でやってくれるのですが、大体4、5人来れば良い方です。スポレクの講演会するときなど、先ほど言った歯科の健診とか、そういうものと一緒に今度やってもらって、大体5、60人集まったらできるかなと思いますので、ぜひ今度はタイアップしてやっていきたいなと思っています。以上です。

議長（石崎会長）

はい、倉持委員ありがとうございました。活動の内容によっては、まだコロナの影響が多少あるのですね。

倉持委員

踊りでもなんでも人と接するものですから、どうしても活動が狭まっています。今のマイコプラズマを含めて、インフルエンザから、テレビであんなに言っているものですから、やはりなかなかできない。終わった後、ちょっとお茶でも飲もうかというのも、お話もなかなかしにくいところですが。

議長（石崎会長）

わかりました。実態を教えてくださいましてありがとうございます。では続きまして、盛永委員よろしく願いいたします。

盛永委員

彩愛クラブの盛永です。

彩愛クラブは、昔は老人会という名前でした。みんなが老人会じゃ嫌だと言うので、以前は老人クラブ連合会でしたが、あるときから彩愛クラブという名前に変更しました。

合併してから、1市3町が合併しましたがけれども、各地区にそれぞれ会長、副会長、団体があります。各地区の活動を1つにまとめて、1つの久喜市彩愛クラブ連合会をつくりまして活動しております。特に身体を動かすこと、親睦を図ることを目的としております。輪投げ大会、グラウンドゴルフ大会、これらが活動のメインです。

栗橋、鷲宮、久喜、菖蒲と4つありますが、各地区で予選会をやり、そして、選手を本大会という決勝大会の方に送り込み、決勝大会は連合で主催して実施しております。各地区の予選会で選抜された人が、本大会に出られるという形です。輪投げ大会は、毎回約100名の参加を得ております。グラウンドゴルフ大会は秋に行いますが、ちょうど寒い頃に

盛永委員

あたります。でも、一番の盛り上がりを見せております。幹事は各地区で、栗橋、鷲宮、久喜、菖蒲と、当番が回ってきます。そのときに幹事をして、なるべく絶やさないように、計画的に行えるように取り組んでおります。以上です。

議長（石崎会長）

はい、盛永委員ありがとうございました。
では続きまして、伊藤委員よろしく願いいたします。

伊藤委員

栗橋小学校校長の伊藤と申します。お世話になっております。
久喜市小・中学校校長会としまして、それぞれの学校でいろいろなことに取り組んでいると思うのですが、健康増進ということでは、特にこの団体名には入っていませんが、給食でバランスのよい食事というのを提供していただいております。

小学校では、給食センターができてどこの学校も同じ給食をいただいておりますが、センターの見学に行かれたことがある方はいらっしゃいますか。非常に衛生管理も整っておりますし、栄養面もすごくこだわったものを提供していただいております。センターだとどうしても、もしかしたら冷めた給食が届くのではないかとご心配されるところがあるかと思いますが、火傷しない程度にあたたかい給食が届いております、こどもたちからも非常に好評を得ている給食を提供していただいております。

本校の栄養教諭は、その給食の時間に、スライドを作ってくれたり、市内の小学校に同じように配布されますが、今日の給食は地産地消を意識して作られているよ、というようなスライドだったり、イベントに合わせた食事、それから読書の本の中からメニューを考えた食事など、いろいろと工夫して、給食を活用した食育が行われております。

スポーツ、体力面は、本校の場合はもう少し力を入れなくてはいけないと思いますが、市内では体育の研究課題に取り上げて、特に力を入れている学校ですとか、その学校で研究していることを共有するというところで、こどもたちの体力増進というのにも学校では取り組んでいると思います。

また、学校だけではありませんが、地域の皆様にご協力いただくというところで、栗橋小学校の場合には、栗橋小学校区コミュニティ協議会というものがありまして、そちらで地域の皆様と年に2回ですが、1回目は夏のラジオ体操を行い、秋口に、先ほどのグラウンドゴルフをやらせていただくなどという交流もございます。

先ほど自殺の話がありましたが、まさに今日も午前中、校長会がありまして、その中で自殺については、教育課程の中にその指導を位置付けています。埼玉県メンタルヘルスリテラシーツールというのがありまして、そちらの方をきちんと、教育課程の中に位置付けて、しっかりと

伊藤委員

指導して。今日校長会の方で確認してきたことは、SOS の出し方、受けとめ方というの、きちんと校内で周知しましょうという指導も受けて参りました。

議長（石崎会長）

ありがとうございました。学校と地域の協力的な関係性のことですか、自殺に関しては小・中高生の自殺者数が年々増えていて、今年も今までで最多になっているというデータがありましたので、教育の一環として取り組む必要性を、校長会の中でも共有されていることについてお教えくださりありがとうございます。

それでは、上岡委員、先ほどもご発言いただきましたがよろしく願いいたします。

上岡委員

一つ訂正していただきたいところがあります。資料4の中で、健康増進計画の④の中に、「各園、年2回の歯科検診」の「検」の字が、また、検査の「検」になっていますが、健康の「健」だと思われま。よろしく訂正のほどお願いします。毎回すみません。

歯科医師会では、三つの目標を掲げております。まず、在宅医療の推進ということが一点です。二点目といたしまして、健康づくり対策。三点目といたしまして、親と子の保健対策ということで、目標を立てております。

その中で、久喜市歯科医師会では、拠点事業を充実するというです。昨年度から拠点の事務局が立ち上がりました。中央保健センターの1室をお借りいたしまして、事務局を立ち上げております。そこで重点的に、在宅診療とか訪問診療のご依頼を受けられるようになりました。これにより、通院できない方のところに訪問の先生方が行かれまして、治療ができるようになりました。まだまだ周知が広がっていないという点が、今のところの課題ではあります。委員の皆さんにもご周知いただいて、アピールしていきたいと思っております。

また、歯科医師会で今一番力を入れているのが、歯周病検診です。歯周病検診は、今は40歳以上ということで市の方から委託されていますが、市長さんとかとお話をして、なるべく20歳ぐらいからできるようにしていただきたいと、今、要望しております。これができれば、20歳ぐらいの早いうちから歯周病の悪いところを治せるのではないかなと考えております。まだまだ予算の方が見つからないということで、今回は無理かと思っておりますが、あと2年ぐらいすれば大丈夫かと思っております。我々歯科医師会としては、低年齢層からの患者さんの掘り起こしということを重点的に行なっていきたいと思っておりますので、できれば早めにそういったことをやっていきたいと思っております。

また今、歯周病検診についてクーポンを出すというようなことがあります。今、我々の方に連絡があるのは、教職員の県の職員の方のクーポ

上岡委員

ン、歯周病、歯科検（健）診を受けるとクーポンがもらえるよというのができましたので、なるべく歯科医師会に、歯科の先生にかかっていたいで、クーポンをいただいていたきたいと思います。

また、セキ薬局さんともですね、そういった話もきております。歯周病検診を受けるとクーポンがもらえるという話もあります。その話が進めば、患者さんの掘り起こしができるということで大分楽しみにしています。また何か要望がありましたら、歯科医師会の窓口ができましたので、中央保健センターの方にご連絡いただければ、こういったイベントにも参加できると思っていますので、よろしく願いいたします。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。貴重な情報提供も含めてありがとうございます。

それでは池上委員、よろしく願いいたします。

池上委員

はい。薬剤師会ではこのようなイベントですと、久喜市の健康増進・食育推進大会で、以前は、グリコヘモグロビンA1cの測定と、あともう1つとして、昨年やりましたこども調剤体験、この2つのイベントを中心としてやらせていただいています。今回も最初、グリコヘモグロビンA1cの測定会をやる予定でしたが、こどもが中心だということで、急遽こども調剤体験にしました。皆さん、病院にかかると結構待つと思います、調剤体験を通じまして、かなり手間がかかるので、待つのも仕方ないねというような感じで、待つ理由がよく分かったと。昨年やった調剤体験ですと、分包機は我々が使っている本物の分包機を使いまして、粉薬、粉薬といってもジュースです。あと、粒状のチョコレート菓子ですね。これを2日分、分包機でちゃんと作ります。やはり、測って作って、なおかつ、そのあと説明するということまで全部やりますと、かなり時間がかかるので、2台使いましたが、30名がぎりぎりいっぱいでした。イベントとしてはそこそこ成功し、やはり体験してもらおうと、どれだけ手間がかかっているかということが分かっていたので、そういう点ではよかったと思いますし、将来薬剤師になりたいという感想も聞かれました。グリコヘモグロビンA1cの測定会と、こども調剤体験、この2点で、今後の予定としてはいく予定です。グリコヘモグロビンA1cは、ドクターの方でも、健康診断とかで測っているの、そこで糖尿病の人を見つけることができるかと思えますけれど、今回ここでも、全く普段健康診断に行かない人とかもいますので、そういう方を捕まえられるというチャンスがあると思います。

また、今までずっとやってきた中で1名しかいませんでしたが、その方も全く健康診断というか、糖尿病に関しては、自分がまさか糖尿病であるとは思ってなかったそうですが、反応してしまいまして、即、ドクターにかかるように、随分口酸っぱくして、やっと思うようになり、大

池上委員	<p>分数值も良くなってきたということです。たった1名ですけれども、やってそこで見つければ、本当に良いと思いますので、本当はいいのが一番良いですけど、たまたま見つかったりしますと、その方にとっては病気を見直すチャンスだと思いますので、引き続きやっていきたいと思っています。以上です。</p>
議長（石崎会長）	<p>はい、ありがとうございます。思わぬ早期発見の場にもなりつつ、お子様においては、職業体験の場にもなったということでご報告いただきました。ありがとうございました。</p> <p>では次に奥川委員にお願いしたいのですが、以降、まだ委員の方がたくさんおられまして、このタイミングでのお願いで申し訳ございませんが、2分程で簡潔にお話しいただければと思います。</p>
奥川委員	<p>はい。私は社会福祉協議会から来ておりまして、社会福祉協議会は皆さんの福祉、普段の暮らしの幸せの福祉を推進する団体でございます。誰もが気軽に集まれるような場所ということで、ふれあい・いきいきサロンの運営の支援や、ボランティア活動の紹介などをさせていただいております。</p> <p>またその中で、サロンに関しては、出前講座などで、職員には看護師もおりますので、血圧測定であったりとか、介護予防の体操だったりとか、そういうものを実施しております。皆さんの中でも何かお使いになれるところがありましたら、お声がけいただければと思います。以上です。</p>
議長（石崎会長）	<p>はい、簡潔にありがとうございました。資料の中にも記載があり、ご回答くださりましてありがとうございます。</p> <p>それでは、榎本委員よろしく願いいたします。</p>
榎本委員	<p>商工会の榎本と申します。</p> <p>商工会で今取り組んでいる事業といたしましては、会員企業様向けではございますが、定期健康診断の企画と、受診料の補助を事業として実施しております。</p> <p>あと、今後できそうな取組みということですが、すぐできそうだと思うのは、会員企業様にこころの体温計を配布するとか、弊会主催のイベント等で、一般の方に配布するということができるかと思惟ました。以上です。</p>
議長（石崎会長）	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ここまで各団体様からのいろいろな取組みを教えていただきましたが、次に公募委員の皆様にもぜひお伺いしたいと思います。</p>

議長（石崎会長）

まずは小川委員から、ご意見を頂戴したいと思います。

小川委員

はい。

色々な団体の方が、いろいろなことをやられていることがよく分かりました。

健康日本21とか、市の第3次計画とか、やっていると思いますが、やはりまだ感覚的には市民の皆さんあまり理解されていないのではないかと思います。なので、例えば1つのテーマに絞り、年単位とか数年単位で、それを市全体で一緒にやっていくというようなこと等があってもいいのではないかと思います。例えばフレイルについて、ここ3年間やりましょうとか、そのパンフレットとか、ポスターをいろいろなところに貼るとか、それに関する講習会とかを重点的にやっていくとか、そういうことはあってもいいのではないかと思います。そうすれば、少しずつ浸透していくかなと思います。例えばこのフレイルですと、フレイルチェック表というのがいくつかの団体から出ていまして、要素としては、栄養とか運動とか社会参加、というところのチェックというのがメインになっています。市の健康増進計画の中の項目にかなり当てはまるところがあるので、こういったチェック表を利用して、いろいろなところで皆さんにやっていただいて、意識を高めていただくことができるのではないかと思います。ですので、こういったことを、市を挙げて行っていくことはどうかと思います。

あと、健康日本21でも言っていますが、健康寿命を長くするというのと、健康格差をなくすというところが、非常に大きな最終的な目標だと思います。やはり一番難しいのは、健康に対する関心があまりない方だと思います。皆さん先ほど紹介していただいたのは、大体健康に関心がある方が参加されると思いますが、健康に関心のない方には、それに参加していただくというのがなかなか難しいと思います。ですので、その工夫が必要ではないかと思います。

例えば、社協さんの方でやられているいきいきサロンとか、そういったものと、健康に興味のない方も参加され、その中で健康に関する教育をされていると思いますが、そういった方法で、色々なことをやっていくという工夫が必要ではないかと思います。

それから、上から教えるだけではなく、市民の皆様に参加していただくような形の、市民参加型の地域ボランティアのような活動をより積極的にできないかと思います。今でも多分、健康づくり委員とか、健康推進委員とか、そういったことをやられている自治体は結構あり、やり方はいろいろあると思いますが、久喜市に合ったやり方で、何かそういったことができないかと思っています。健康に関する知識を学んで、さらに学んだことを地域の人に広げるといったことになりますので、推進委員になること自体が、その方自身の社会的な役割を果たすことになると同

小川委員	時に、他の参加者にも良い影響を与えることができると思います。非常に効率的なやり方になるのではないかとと思うので、そういったことも考えていただけたらと思っています。以上です。
議長（石崎会長）	はい、ありがとうございました。効果的な推進の仕方というところで、ご意見をいただきました。 では中野委員、よろしく願いいたします。
中野委員	私はイベントの参加についてですが、駅前でやっている市民まつりには、こどもが小さい頃から毎年のように参加していきまして、いろいろなイベントをさせていただきました。このスポーツフェスタはすごく魅力的ですが、私はペーパードライバーなので、ここの体育館、総合運動公園へはとても行きにくいというところもありまして。なので、難しいかもしれませんが、市内の循環バスのようなものが、イベントに合わせた日だけでも増便といたしますか、何か行きやすい方法や工夫があればいいと思いました。以上です。
議長（石崎会長）	ありがとうございます。 参加のしやすさという点からのご意見をありがとうございました。 では、加藤委員よろしく願いいたします。
加藤委員	私は、騎西町にある環境科学国際センター、こちらで環境問題の方に関わっておりまして、今アンケート調査ということで、エコライフで冬のバージョンを一般市民にお願いしております。行政区では11区に所属しております。こちらは農村地帯なものですから、農家組合の方に所属しております。それで、今、米の問題で、高止まりが止まらないという現状になっております。県の方に陳情しまして、備蓄米を出していただくようお願いしていますが、なかなか農水省の方で、良い返事がいただけないものですから、米の高騰がまだまだ続いて、しばらくの間下がるということはないのではないかと思います。 また、農業者自体が高齢化していて、後継者がいないということで、みんなで協力してやる作業をしております。 野菜も高温障害で、暑い最中、野菜の種まきをするのですが、暑い時期なものですから温度が下がらず、種を蒔いても芽が出ないということで、二度蒔き、三度蒔きしてつくっている人が多いです。そうすると、最適な時期にできず、寒くなってから一人前の作物が育っているのですが、やはり定常の数値というか、「L」とか「S」とかいろいろサイズはありますが、的確なサイズにならなくても、市場の方で出してくれと言われます。あるのであれば、少しは小さくても、規格外でもいいからと。ですがやはり品物が揃わないことにはどうにもならないということ

加藤委員	<p>で、いまだ野菜にしても、高騰が続いているという悪循環があります。</p> <p>あと1つは良い話ですが、埼玉県でも米の新しい品種がようやくできました。名前は、「えみほころ」といいます。まだ推奨米にはなっていませんが、今年には埼玉県の推奨米という形で、秋には大量に出てくるような話になっております。以上です。</p>
盛永委員	<p>品種の名前をもう一回いいですか。</p>
加藤委員	<p>「えみほころ」といいます。これはですね、「彩のかがやき」に代わる新品種です。</p>
盛永委員	<p>ありがとうございます。</p>
議長（石崎会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>では岡田委員、よろしく願いいたします。</p>
岡田委員	<p>今まで東京都の保育園で給食を作っていました、9月からさいたま市の保育園に異動しました。メニューの違いについて今勉強中ですが、これからも食育とか、食に関する企画などがあればどんどん参加していきたいと思っています。</p>
議長（石崎会長）	<p>ありがとうございます。埼玉県と東京都で、違いを感じられたことはありますか。</p>
岡田委員	<p>今、埼玉の保育園ですと、埼玉彩の国シチューとか、さつま芋を入れるとか、名前が違うだけですが、いろいろ根菜を入れたりとかして、その地域によって違うと感じました。</p>
議長（石崎会長）	<p>分かりました。異なる地域でのご経験から、地域性などがよりお分かりになるのではと思い伺わせていただきました。ありがとうございます。</p> <p>では佐藤委員、よろしく願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>はい。長いこと学校現場にいた人間です。</p> <p>環境づくりという点で1点、申し上げますが、日頃ご夫婦で散歩されている方だとか、ランニングしている方だとか、多く目につくようになりましたけれども、一方で、こどもたちがワイワイ元気に遊んでいる姿が減ってきていると感じています。</p> <p>それで、運動広場とか、何かこどもたちが放課後、〇〇ちゃんと約束して運動広場でキャッチボールしようとか、そういった何か行ってみた</p>

佐藤委員

くなるような場があれば、もう少し子どもたちの生活も変わってくるかという感じはしています。

久喜市の方でも、大分、学校の統廃合等が進んできているようですので、今がある意味チャンスでもあるかという気がします。というのは、その敷地が空くところも出てくるわけですね。そういったところを、子どもたちの遊び場、運動する広場として還元していけるような方向で進んでいけば、子どもたちの生活にとって良いことがあるのではないかと期待しています。ですので、この会としても、そういった働きかけや発信をしていけたらいいと思っております。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。

それでは最後になりますね、富田委員よろしく願いいたします。

富田委員

こんにちは。私はこちらの会議の委員でありながら、睡眠不足とか、すごく怠って、60歳を前に実は4月から入院を3回しまして、7月には大きな手術をしました。元々持病があり、免疫力が下がってしまったというのが原因ではありました。今も通院しています。そこで感じたことが、やはり本当に医療費が高いということです。お金がないと入院も、病気もできないのかというぐらい、私は痛感いたしました。

まず、60歳というのは1つターゲットになるかと思います。まだ無理がきくと思って仕事もして、睡眠時間も3、4時間でした。なので、こちらのアンケートとか、お手伝いも参加できなくて申し訳なかったですが、11月からやっと車の運転ができるようになりました。逆に車の運転をするようになったら歩かなくなったので、筋力が落ちているという悪循環を起こしています。本当に、食と健康の大切さを痛感いたしました。また、誤嚥性肺炎とはこういうことかと、やはり手術をしたときに実感しました。食べられない辛さとはこういうことかということも痛感したので、こういったことを自分の経験として何か発信できたらと思っています。本当に医療費高いです。お金がないと病気もできないような状況かと思います。

家業が農業に関する農業機械販売店させていただいていますので、その絡みで野菜ソムリエという資格を取らせていただいて、暮れに東京大学でSDGsに絡めたイベントがあり、野菜を無駄なく使おうという講話をさせていただきました。その頃からキャベツや白菜が高いとなっていたので、野菜を無駄なく使う、冷凍しても食感が変わらない保存方法の仕方とか、そういったことも伝えていけたらと思います。

あと、農業で頑張っている方の食材を広めていくことは、今後もしていきたいので、この資料4の食育推進計画の方に、子どもたちに農業体験ということもありますが、農業に携わる者としてお手伝いできたらと考えています。

富田委員

また、入院中には真っ先に、口の中を見せてくださいと言われました。本当に上岡先生がおっしゃった通り、私も薬の絡みから歯茎から血が出やすく、2か月に一度クリーニングしていただいているので、歯周病の怖さとか、そういうことも実体験で分かっております。まず口の中も衛生的でないと、そこも手術前にはチェックされたので、そこは行ってよかったと思っています。いろいろな病気、とにかく免疫力が下がっているというのは、本当に今の世の中の実感かと思います。それは、食から摂ること、たくさん寝て、たくさん運動することが大切だと本当に実感したので、またこういったことでお手伝いできたらと思っています。ありがとうございます。よろしく申し上げます。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。

大変なご経験をされた事も含めてご共有くださいますとありがとうございます。

よろしければ新井副会長から一言いただいてもよろしいですか。

新井副会長

久喜市医師会の新井です。

この健康増進計画に関しましては、資料4の⑤と⑥のところで、様々な検（健）診とか予防接種とか、そういったところを行わせていただいております。

医師会としましては、特にイベント関連で言いますと、マラソン大会の医師派遣とか、あとは高齢者大学の講師派遣ですね。そういったところでご協力させていただいておりますが、今後としては、資料4の③あるいは⑤のところに関わってくると思いますが、禁煙外来ですね、ここが今、多分、各クリニックさん滞っていると思いますが、今年からまた禁煙治療の内服薬、発癌性物質が検出されてしまったため、出荷停止にこの数年間なっていたのですが、再開されるという情報が伝わってきています。そうすると、また禁煙の治療がやりやすくなるのではないかと考えておりますので、その辺りが今後の課題、期待かと思っています。

あとはスポーツフェスタ KUKI とか、そういったところにもしかしたら参加をさせていただけることがあるかもしれませんので、検討していきたいと思っています。

あと今、医療費の話が出ましたが、医療費に関しては確かに高くなる傾向にあります。我々のお給料は治療費からいただいておりますが、賃上げをしなければいけないということがあり、そういった点も全部、患者さんからいただいたお金で割り振りますので、おそらく今後も治療費は上がっていく方向にあります。治療薬剤とか機材とか、そういうところも全て値上がりしておりますので、あまり良い方向にはなっていないような気がします。国の方で、良い政策があれば、やっていただきたいのですが、基本的には社会保障費をどんどん削っていかざるをえな

新井副会長

い状況になりそうなので、これからどうなるかよく分からないというのが実態であります。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。委員の皆様からたくさんの貴重なご意見を賜りました。

団体の皆様からは、現在行っていることやここに記載されていない活動もご共有いただきましたし、公募委員の皆様からは、参加しやすいの視点ですとか、取り組んでいく上でこういう方策がより効果的ではないかというご意見を頂戴することができました。いただいたご意見は事務局、市の方でも、推進にあたっての取り組みを考える上でぜひ参考にさせていただき、また、今後、この会での話し合いにも生かしていければと思います。

それでは、終了予定の時間に差し掛かっており申し訳ございませんが、（3）その他、に移らせていただきます。

（3）その他

令和7年度の会議の開催予定について

議長（石崎会長）

令和7年度の会議の開催予定について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局(船橋主事)

事務局から、令和7年度の会議の開催予定について連絡させていただきます。令和7年度は、年1回、8月頃の開催を予定しております。開催回数は減りますが、会議前に書面にて、団体に所属されている委員の皆様から、令和6年度に実施された取組みの結果及び令和7年度の予定について伺いたいと考えております。事前に回答いただいた内容をとりまとめ、会議で報告させていただきたいと思っております。

次に、参考資料として配布している、計画の位置づけについてお知らせさせていただきます。久喜市健康増進・食育推進・自殺対策計画は、県の計画と整合を図っています。埼玉県では、令和6年度を初年度とする「第8次埼玉県地域保健医療計画」が策定されましたので、お知らせいたします。「健康長寿計画」「食育推進計画」「自殺対策計画」など、政策的に関連の深い12の計画をひとつの計画に取り込み、より一体的に保健医療施策を推進することを目指し、県が総合的な計画を策定したものでございます。

その他の事務局からのお知らせにつきましては、以上でございます。

議長（石崎会長）

はい、ご説明ありがとうございます。

ただいま事務局から、令和7年度の会議開催予定について、来年度は年1回で8月頃予定されているというご連絡、それから、参考資料として提示されています、計画の中では5ページの部分になるかと思っております。

議長（石崎会長）

が、県の計画が地域保健医療計画ということで一本に大きく統合されましたので、その兼ね合いで計画名が変更しているというご説明をいただきました。

これらにつきましてご質問やご意見はございますか。よろしいでしょうか。

では、本日予定しておりました議題を終了したいと思います。もし発言ができなかったご意見等がありましたら、事務局まで遠慮なくお寄せくださいませ。

長時間にわたりまして、委員の皆様にはご協力いただきありがとうございます。ここで、議長の任を解かせていただきます。

事務局(加藤課長)

石崎会長、委員の皆様、お疲れ様でした。大変ありがとうございました。

最後に、2点お伝えさせていただきます。

まず、先ほど三澤委員さんから、アンケートの関係でご意見をいただいております。今後、団体に所属されている皆様の方で、会員の皆様方にアンケートのご協力いただけるようなところがございますら、お願いをして参りたいと思います。それにつきましてはまた改めてご連絡をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

もう1点、先ほどご説明いたしました、来年度の会議は年1回となります。年1回ということで、事前の準備でまたご連絡させていただくこともありますので、ご協力いただければと思います。日程が近くなりましたらご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、閉会のごあいさつを新井副会長からお願いたします。

4 閉会

新井副会長

(副会長あいさつ)

司会（加藤課長）

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第2回久喜市健康増進・食育推進会議を散会とさせていただきます。

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和7年2月20日

久喜市健康増進・食育推進会議 会長 石崎 順子

審 議 会 等 会 議 録